

11月2日の投票日まで
10日を切った。いよ
いよ、ブッシュ、ケリー
陣営ともあの手この手の
「ダーティトリック」
に訴える最終作戦に突入
した。今回は、ブッシュ
が繰り広げている「テレ
ビを使った怪しい動き」
を紹介したい。

まずは、「変貌を遂げ
る世界」と題するブッ
シュ陣営のテレビコマー
シャルについて。これはブ
ッシュを「世界で巻き起
こるテロと敢然と戦う強
いリーダー」と印象付け
るため制作された約30秒
間のフィルムである。こ
れまでも数多くの選挙用
CMが制作されてきたが
が、いずれも巧妙なサブ
リミナル映像が組み込ま
れていると指摘されてい
る。しかし、投票日直前
まで流される予定のこの
バージョンは、とくに念



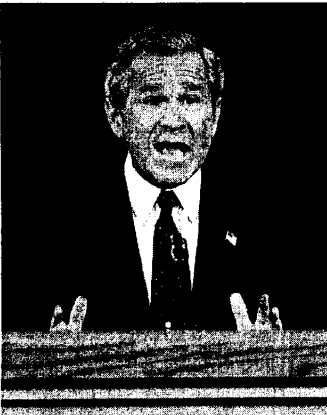
特殊な装置で解析した結
果、ブッシュの顔に重ね
るように7種類の奇妙な
顔が隠されていることが
明らかになった。演説す
るブッシュの背後で静か
に揺れるカーテンのすき
間から、最初に登場する
のは「幼い白人の少女」
次に彼女が手に持ってい
る「動物の形をしたぬい
ぐるみ」にフォーカスさ
れる。その横に「宇宙人」
が現れる。その前後には
「ピンクの頭蓋骨」が出
たり消えたりするのだ
と、突然、何かおぼひ
えたような表情を見せ
る。最後は戦火
に逃げま
う大勢の裸
の子供たち
が押し出さ
れる。もちろん、普通に
テレビを見ている限り、
これらの奇怪な映像は肉
眼ではわからない。
「男の子」に变身し、次
眼ではわからない。
「この映像はどんな効果
を狙ったものなのか。専
門家の間でも意見の一致
は見られない。ただ、制
作した広告代理店は、
「この映像を見ると恐怖
心が募り、それを取り除
いてくれるのがブッシュ
大統領であると、潜在意
識に植え付けられるのだ
ろ」と言う。

サブリミナル駆使した 怪しげなブッシュCM

宇宙人や頭蓋骨 が次々と登場

「男の子」に变身し、次
眼ではわからない。
「この映像はどんな効果
を狙ったものなのか。専
門家の間でも意見の一致
は見られない。ただ、制
作した広告代理店は、
「この映像を見ると恐怖
心が募り、それを取り除
いてくれるのがブッシュ
大統領であると、潜在意
識に植え付けられるのだ
ろ」と言う。

▼はまだ、かずゆき
国際政治経済学者。米
ジョージ・ワシントン
大学政治学博士。米戦
略国際問題研究所、米
議会調査局などを経
て、現在、国際未来科
学研究所代表。著書に
「黒いホワイトハウ
ス」(祥伝社)、「ハ
ゲタカが囂った日」リ
ップルウッド「新生銀
行の隠された真実」
(集英社) など。



ケリー支持者狙った オレオレ詐欺

大統領選挙
再集計が
行われた
前回選挙
(ロイター共同)



ブッシュ陣営が繰り広
げる「ダーティトリック」
には、信じられないよ
ろな手口ばかりだ。
これはイギリスの「ザ
・ガーディアン」紙の記
者がリポートしているの
だが、前回の大統領選挙
で「票の教え直し」で
もめした激戦区フロリダ
で、電話を使った新手法
「投票詐欺」が横行して
いる。いったいどんな手
口なのか。日本の「オレ
オレ詐欺」まがいのこん
んな電話がかかってくる
者がリポートしているの
「もしもし、こちらは選
挙管理委員会です。ご存
在の、高齢者やニュー
スに「票の教え直し」
もめした激戦区フロリダ
で、電話を使った新手法
「投票詐欺」が横行して
いる。いったいどんな手
口なのか。日本の「オレ
オレ詐欺」まがいのこん
んな電話がかかってくる
者がリポートしているの
「もしもし、こちらは選
挙管理委員会です。ご存
在の、高齢者やニュー
スに「票の教え直し」
もめした激戦区フロリダ
で、電話を使った新手法
「投票詐欺」が横行して
いる。いったいどんな手
口なのか。日本の「オレ
オレ詐欺」まがいのこん
んな電話がかかってくる
者がリポートしているの
「もしもし、こちらは選
挙管理委員会です。ご存
在の、高齢者やニュー
スに「票の教え直し」

要は、有権者に「ブッ
シュが恐怖から救って
くれる」という暗示をかけ
ようというのだろう。こ
の「現代の魔術」、どこ
まで効果を発揮するもの
か、おおいに見ものであ
る。(つづ)

本物の選挙管理委員会
がこんな電話をかけるは
ずはない。ましてや、電
話による投票などありえ
ない話。しかし、現実に
は、相当数の有権者が
「さすが21世紀のアメ
リカ。便利になった」と
口リとだまされているよ
ろなのだ。
前回の大統領選挙で
は、フロリダ州内だけで
2万2000人もの黒人か。

「オレオレ詐欺」が横行して
いる。いったいどんな手
口なのか。日本の「オレ
オレ詐欺」まがいのこん
んな電話がかかってくる
者がリポートしているの
「もしもし、こちらは選
挙管理委員会です。ご存
在の、高齢者やニュー
スに「票の教え直し」
もめした激戦区フロリダ
で、電話を使った新手法
「投票詐欺」が横行して
いる。いったいどんな手
口なのか。日本の「オレ
オレ詐欺」まがいのこん
んな電話がかかってくる
者がリポートしているの
「もしもし、こちらは選
挙管理委員会です。ご存
在の、高齢者やニュー
スに「票の教え直し」

▼はまだ、かずゆき
国際政治経済学者。米
ジョージ・ワシントン
大学政治学博士。米戦
略国際問題研究所、米
議会調査局などを経
て、現在、国際未来科
学研究所代表。著書に
「黒いホワイトハウ
ス」(祥伝社)、「ハ
ゲタカが囂った日」リ
ップルウッド「新生銀
行の隠された真実」
(集英社) など。

ブッシュは1回で3票 ケリーは3回で1票

がままブッシュの病気が再発した。大統領選挙直前の大寒波に、接戦が伝えられる中西部の各州を遊説すべく計画が立てられていたが、「疲れたの一言でドタキャン。ブッシュ本人は「休日返上で働く」と宣言していたが、先週はテキサスの自宅にこもる。「ニューヨーク・タイアが驚き、飛びついた」

もったきり。余裕の表れ「イムズ」に次いで、「ワシントン・ポスト」も「ブッシュではだめだ」と言い始めた。極め付きは、ブッシュのおひき元クロフォードのローカル新聞「ローンスタター」ところアメリカの主要新聞も「ケリーを支持する」とフチ上げたのである。これは全米のメディアが驚き、飛びついた。

ブッシュの地元で陣を張って大丈夫か。商売が成り立つのか」というわけだが、編集長は平然としたものだ。

「心配ないよ。ご当地出身の大統領候補は新聞を読んだことがないらしいからね。とくに、嫌がらせも圧力もないよ。確かに、村人の何人かは購読を解除すると怒鳴り込んできた。でも、大半の読者は大喜びさ。なぜかって? こんな小さな村の新聞がアメリカ中、いや世界中の注目を集めたからさ。なにせ発行部数は42万5千部。この新聞を欲しがっている連中が多くて、今じゃネットオークションで大変な高値を呼んでいるからね」

実は、ブッシュが余裕でいられるにはそれな



大丈夫なのか?(AP)

秘匿が隠されている。全米各地で使われることにやる」と豪語する人物。米各地で使われることになったのがダイポールド不審に思ったスタンフォード大学やMIT(マサチューセッツ工科大学)のコンピュータ・システムの専門家たちが分析したところ、驚くべき細工が仕込まれていることが判明した。なんと、投票機のタッチパネル画面でケリーを押しても、3回に1回しかカウントされない。逆に、ブッシュを押すと、1回で3票入るとい

▼はまだ、かずゆき国際政治経済学者。米ジョージ・ワシントン大学政治学博士。米戦略国際問題研究所、米議会調査局などを経て、現在、国際未来科学研究所代表。著書に「黒いホワイトハウス」(祥伝社)、「ハゲタカが囋った日」リッパルウッドの新生銀行の隠された真実」(集英社)など。

電子投票のパネルタッチにカラクリ
イコト運動がよやく起って来たが、間に合

起って来たが、間に合

ブッシュ、ケリーの接戦を決するのは、フロリダ、オハイオ、ペンシルバニア州知事ベニア3州といわれ、それが外れたら、選挙の行方が確定しているから。当然、両陣営も、これら3州に最後の精力を投入している。病み上がりのクリントン前大統領もペンシルベニアに姿を現し、「アメリカが再生するにはケリーが勝つかない」と訴え、派有権者リストをホーム

すかさず、オハイオでスから「必ず投票に行ってください」という手紙を書くという運動を始め。すでに3000人のイギリス人が見知らずのオハイオ州の住人1万4000人に手紙を送ったという。その大半がケリー支持を訴えたというので、ブッシュ陣営も大慌て、さっそくハッカーを動員して、ガトーディアのホームページのデー下でも必死の攻防戦が続いている。

▼はまだ、かずゆき国際政治経済学者。米ジョージ・ワシントン大学政治学博士。米戦略国際問題研究所、米議会調査局などを経て、現在、国際未来科学研究所代表。著書に「黒いホワイトハウス」(祥伝社)、「ハゲタカが囋った日」リッパルウッドの新生銀行の隠された真実」(集英社)など。

早くも開票後の異議申し立て準備 弁護士ら使ってケリー支持者のアラ探し



ブッシュ陣営

そんななか、権謀術数にたけたブッシュの機刀カール・ロフ大統領顧問は、電子投票機の仕掛け以外にも二重三重の「必勝ターミネーター」を準備している。彼が最も得意とするのは、開票結果に異議を申し立て、法廷闘争に持ち込んで勝利するという裏技。これまで、前回の大統領選で接戦になったフロリダ州はもちろん、アラバマ州でも最高裁まで争って、民主党の票を共

病み上がりのクリントン前大統領も登場(AP)

和党に教え直させてきた。そのためには、実際の投票所で有権者の行動に不審な点があったことを証拠として提出しなければならない。

その証拠づくりのため、ロフ顧問は激戦区の投票所に1万人近い数の弁護士、法律補助員、法学部の学生を配置し、ケリーの得票数が多くなるとは、即、選挙無効の訴えを行うための証拠集めを指示している。もちろん、ケリー陣営も黙ってはいない。同様の監視体制を準備している。最終的には全米で15万人を分かれて法廷闘争にかかわることになりそうだ。

これでは「21世紀の南北戦争」の幕開けとしか言えない。(ついで)